

4 その他の調査計画(案)

4.1 目的

本調査は、各モデル地域で懸念されている事項や、クリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と合わせて、漂流・漂着ゴミ削減方策を検討する上で必要な事項について調査・検討することを目的とする。

4.2 調査内容

本他調査は 9 項目の調査から構成されている（表 1）。このうち平成 19 年度長崎では、定点観測調査を実施する。詳細は、資料 4 に示した。

表 1 その他の調査の概要

調査名称	概要
定点観測調査 (資料 4 参照)	各モデル地域において高頻度の定点観察を行い、漂着状況を経時的に把握する。調査方法は、デジタルカメラによる定期的な撮影（週 1 回）と台風後の 10 日間連続撮影を行う。
その他の調査のうち、長崎県以外の地域、または日本国内を対象とする調査	
漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査	
医療系廃棄物に係る実態調査	
観光資源価値向上の検討に係る調査	
微細なプラスチック破片による生態系への影響調査	
漂流経路把握調査	
国内向け及び海外向け広報活動の検討	
流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)開催の検討	
河口域及び海域におけるゴミ回収方法等に係る調査	

4.3 結果取りまとめ

その他の調査で行う各調査と、漂流・漂着ゴミの発生抑制・除去・漂着防止に係る各施策との関連は図 1 のようになると考えられる。これらの関連性に基づき、関連するクリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と併せて、各調査結果の解析を行い、漂流・漂着ゴミの削減方策の検討に向けた結果の取りまとめを行う。

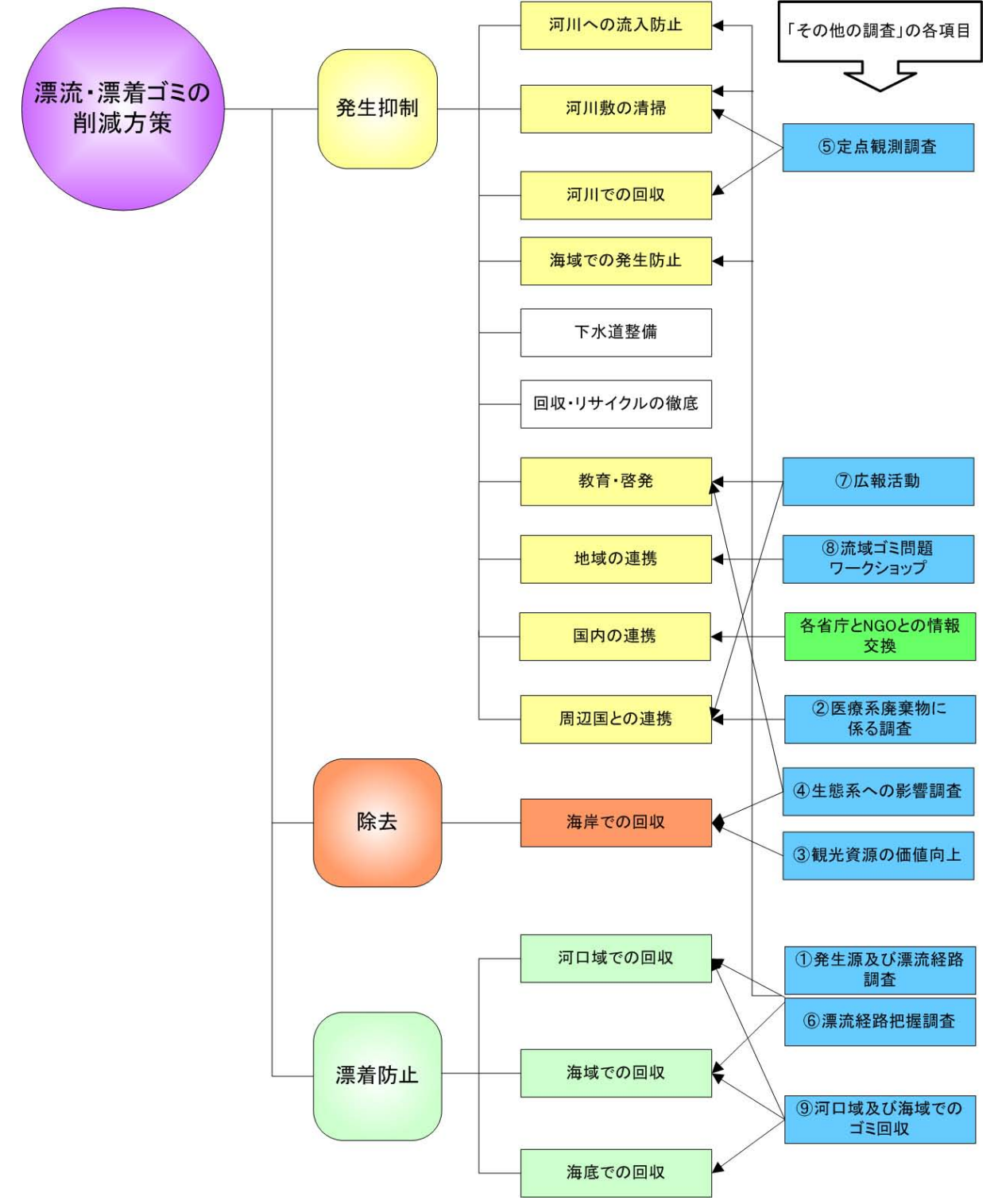


図 1 漂流・漂着ゴミの削減方策と「その他の調査」項目との関係

